

前回の CE 通信の最後に出た「心室細動 (Vf)」に有効な「AED」とは、何でしょうか？

AED = 半自動除細動器のことです

AED は、Automated External Defibrillator の頭文字を取ったものです。AED は、電源を入れて体に電極を貼ると**器械が自動的に心臓の動きを解析**し、日本語の音声とディスプレイでガイドするので、使用者はその指示に従えばよいのです。使用者が**不整脈などの知識がなくとも AED が除細動の適否を判断し、必要な場合のみ除細動が実行可能**となります。

非医療従事者が AED を使用する場合

- ① 救急の現場に居合わせた**一般市民が AED を使用することは医師法違反にはなりません。**
- ② 業務の内容等から一定の頻度で心停止者の応急対応が期待される者が AED を使用する場合は、次の4つの条件（すべて）を満たすことになっています。
  - ・ 医師を探す努力をしても見つからない等、医師等の速やかな対応が困難である
  - ・ 使用者が対象者の意識、呼吸がないことを確認している
  - ・ **使用者が AED 使用に必要な講習を受けている**
  - ・ 使用される AED が医療用具として薬事法の承認を得ている



参考事項

(1) SCAとは

**発症から24時間以内に死亡するものを突然死**と言い、特に**心臓が突然停止してしまうものを心臓突然停止 (SCA : Sudden Cardiac Arrest)**と呼ぶ。米国における死因の第1位はSCAであり、その数は年間20万人から30万人（死因第1位）とされています。日本においては、公式な統計データはないものの、**年間約2万人から3万人**（交通事故より多い）がSCAで死亡しているとみられています。（国の報告書から）

(2) 致死性不整脈とは

SCAの原因の多くは心室細動 (Vf) といわれる致死性の不整脈であり、この**Vf の唯一の治療方法は速やかな電氣的除細動**です。他にも心室頻脈 (VT) とよばれる危険な不整脈もあり Vf の前兆で起きることもあり、脈のない VT は Vf と同様に数分間で死亡する場合もある致死性不整脈です。

なお、**心静止 (アシストール) 状態、すなわち心電図がフラットな状態では除細動しても元に戻ることありませ**  
**ん。**

(3) SCAの発生場所

SCAはどこでも発生し、**7~8割は家庭内で発生**と言われてはいますが、**人がいる場所ではどこでも起きえます**。欧米のように、駅、空港、商業施設、ショッピングモール、スタジアム、工場、ゴルフ場など人々が多く集まる場所にAEDを配備することが大切であると考えられています。

